※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	簿記②	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	「高校簿記　新訂版」（実教出版）						
副教材等	「反復式　簿記問題集　全商３級」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

さて、いよいよ後半です。
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解してもらいたいので休まないでください。
また財務諸表作成に必要な知識を定着させるため繰り返し復習してください。そのために忘れ物（特に問題集）をしないようにしてください。これからＡＩの時代になっていきますが実務を理解している人間が不要になることはないと思われます。簿記の世界でともに頑張りましょう。

２　学習の到達目標

①簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
②取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
③企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・簿記の基礎的・基本的な知識を身に付け簿記一巡の手続きとその手順を理解しているか。 ・簿記の基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理する能力を身に付けているか。	・簿記に関する諸問題の解決をめざし、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、その成果を的確に表現しているか。	・企業の取引を記録・計算・整理する技術である簿記に興味を持ち、簿記の学習に自ら進んで取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１０月	決算	精算表の作成	a:精算表が正確に作成できるか b:精算表の役割を明らかにしてその作成に習熟させる c: 仕訳・作表に意欲的に取り組んでいるか	小テスト プリント	問題集	行動の観察
	決算	P／L・B／Sの作成	a:P／L・B／Sが正確に作成できるか b:P／L・B／Sの役割を明らかにしてその作成に習熟させる c: 仕訳・作表に意欲的に取り組んでいるか	小テスト プリント	問題集	行動の観察
１１月	伝票	3伝票制	a:３伝票の記入ができる b:入金伝票・出金伝票・振替伝票の意味を理解しているか c: 仕訳・伝票記入に意欲的に取り組んでいるか	小テスト プリント	問題集	行動の観察
	総復習	全商簿記実務検定模擬テスト	a: 全商簿記実務検定模擬試験で合格点が取れる b:間違えた解答をなぜ間違えたのか考えることができる c:間違えた解答をきちんと直し向上しようとしているか	模擬テスト	模擬テスト	行動の観察
１２月	総復習	全商簿記実務検定模擬テスト	a: 全商簿記実務検定模擬試験で合格点が取れる b: 間違えた解答をなぜ間違えたのか考えることができる c: 間違えた解答をきちんと直し向上しようとしているか	模擬テスト	模擬テスト	行動の観察
	総復習	全商簿記実務検定模擬テスト	a: 全商簿記実務検定模擬試験で合格点が取れる b: 間違えた解答をなぜ間違えたのか考えることができる c: 間違えた解答をきちんと直し向上しようとしているか	定期考査 模擬テスト	定期考査 模擬テスト	行動の観察
１月	総復習	全商簿記実務検定模擬テスト	a: 全商簿記実務検定模擬試験で合格点が取れる b: 間違えた解答をなぜ間違えたのか考えることができる c: 間違えた解答をきちんと直し向上しようとしているか	模擬テスト	模擬テスト	行動の観察
	進んだ学習	見越し繰り延べ	a:見越し繰り延べの仕訳ができる b:見越し繰り延べの意味を考えることができるか c: 仕訳に意欲的に取り組んでいるか	小テスト 問題集	小テスト 問題集	行動の観察
２月	進んだ学習	見越し繰り延べ	a:見越し繰り延べの仕訳ができる b:見越し繰り延べの意味を考えることができるか c: 仕訳に意欲的に取り組んでいるか	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	行動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度